

# もやし生産者の窮状、変わらず 世の中の声の後押しはあるものの……

## 府職の友 本庁ニュース

発行 大阪府職員  
内線3746

### もやしが姿を消す?

以前の本庁ニュースでも、もやしの原料の豆の価格が3倍になったことや、人件費の上昇により、もやし生産者協会が「もう限界だ」と訴えていることをお伝えしました。訴えから2ヶ月が経ち、もやし生産者の窮状を知らなかったという世の中の声に後押しされ、スーパーなどと卸価格の交渉を続けているそうです。しかし、生産者の大変さは理解してくれても、小売店は他店との競争もあり、簡単には値上げに踏み切れないという思惑が強いようで、なかなか状況は好転していないようです。

この8年ほどで「三〇あった生産者が、一〇〇社以上廃業した」という状況は、私たちの食卓から、もやしが姿を消す日が来るかも……と、思わずにはいられません。

安い商品は、私たちにありがたい限りですが、それだけで良いのか、と考えさせられるニュースです。

### お芝居見に来てね!

さて、そんなもやし生産者を描いたお芝居が、劇団せすん(大阪府職員演劇研究会)で上演されます。

時は1960年代中頃。小さなもやし工場「泉商店」を営む泉家。長男で主人の恵五郎とその息子、幹太。結婚を間近に控えた長女、十子。大学を二年留年して就職活動中の次男、一彦。亡くなった恵五郎の妻の母、佐々木

とみや、近所の中華料理店の店員、高野九里子は忙しい泉家を気遣って、何かと家事を手伝いに来てくれる。また、昔の従業員、喜助も度々遊びに顔を出す。そんなつましくも慌ただしい日々を送る泉家に、行く宛のないらしい村松という男が、従業員として転がり込んでくる。

高度経済成長期という大きな時代の変化の中、手作りのもやし作りを続ける泉商店の家族と、それを取り巻く人々のおかしくも暖かい、ささやかな物語です。

興味やお時間のある方は、足を運んでみてはいかがでしょうか? (2面ピラ参照)

劇団せすん (大阪府職員演劇研究会)

劇団創立50周年公演ファイナル

第41回大阪春の演劇まつり参加作品

## 「もやしの唄」

【公演日程】

7月14日(金) 18:30~  
7月15日(土) 14:00~ 18:00~  
7月16日(日) 13:00~ 17:00~

開演(30分前開場)

【場所】

グリーン会館2階ホール

大阪市北区天神橋1丁目13-15

(大阪地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」駅、JR東西線「大阪天満宮」駅下車。天神橋商店街を南へ徒歩250m)